

訓子府町開基 130 年

広 報

「ちょっといいね！」がたくさんあるまち

くねっぷ

8

2026
NO.792



特集

防災フェスティバル開催
家族で楽しく「もしも」に備えよう



ひゅうが
太田 彪牙さん (訓中3年)

小学1年生から野球を続けており、ポジションはピッチャーとキャッチャーです。野球部では主将としてチームメイトを信頼し、団結できるチームを心掛けて活動しています。中体連ではチーム一丸となって試合に挑んだ結果、優勝することができました。全道大会でもチームで力を合わせてがんばりたいです。

訓中野球部のほかに、中学1年生から野球のクラブチームにも所属しています。けがに注意し、他校のチームメイトと交流しながら練習をがんばっています。

将来の夢はプロ野球選手で、野球は高校生になってもずっと続けたいです。

ふれあいギャラリー



「すてきなぼく・わたし」
訓小1年
齊藤 丈さん
たける



「すてきなぼく・わたし」
訓小1年
青木 暖花さん
ひな



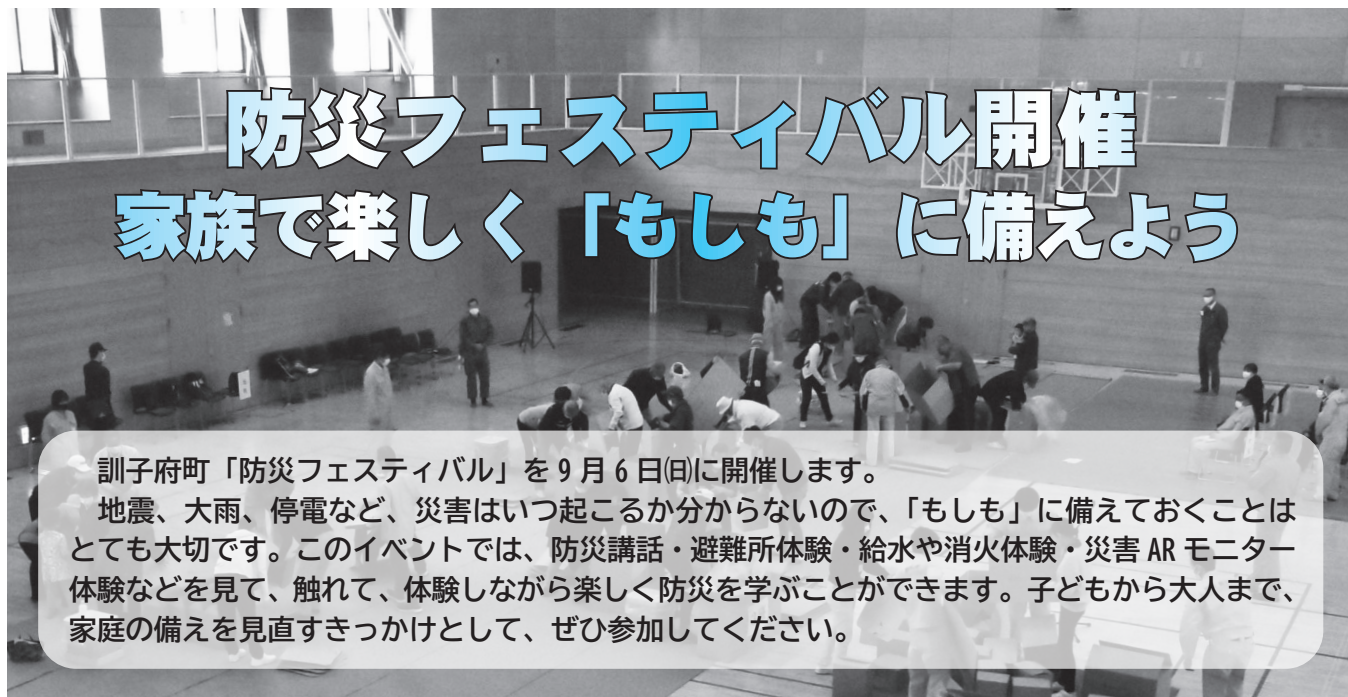
訓小4年
中島 歩来さん
りく



訓小4年
相馬 みうさん



訓小4年
林 郁臣さん
くにおみ



訓子府町「防災フェスティバル」を9月6日(日)に開催します。
地震、大雨、停電など、災害はいつ起こるか分からないので、「もしも」に備えておくことはとても大切です。このイベントでは、防災講話・避難所体験・給水や消火体験・災害 AR モニター体験などを見て、触れて、体験しながら楽しく防災を学ぶことができます。子どもから大人まで、家庭の備えを見直すきっかけとして、ぜひ参加してください。

開催概要

- と き 9月6日(日)10時～13時 雨天決行
- ところ 町公民館、町スポーツセンター、町公民館前駐車場（3会場で実施）
- ※町スポーツセンター内では、避難所を想定した体験を行うため、上靴を持参してください。

時 間	内 容	場 所
10:00～10:05	開会式	町公民館
10:05～10:30	防災講話（1回目）	町公民館
10:30～13:00	各種体験・展示ブース開放	町公民館、町スポーツセンター、町公民館前駐車場
11:00～11:45	「福島しあわせ運べるように合唱団」WEB 交流	町公民館
11:30～11:40 11:50～12:00 12:10～12:20	避難所生活で役立つエコノミークラス症候群予防体操	町スポーツセンター
11:30～12:45	自衛隊炊き出しカレー	町公民館前駐車場
11:45～12:15	給水体験	町公民館前駐車場
12:00～13:00	防災記念品配布（スタンプカードと引き換え）	町公民館
12:30～13:00	防災講話（2回目）	町公民館

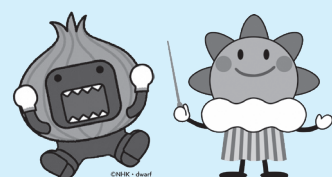
◇「スタンプラリー」で防災記念品をプレゼント

会場でスタンプカードを配布します。各ブースを回ってスタンプを集めることで、防災記念品を受け取ることができます

※数に限りがあります。

◇着ぐるみキャラクターが登場

NHK 北見放送局から「たまねぎどーもくん」、気象庁から「はれるん」が会場にやってきます。お楽しみに



体験・展示ブースの一部を紹介

公民館 「知る」～ 講話・交流・備えの展示

- 防災講話「もしもの時にあわてないために～家族で学ぶ防災～」
講 師 雨森晴香さん（気象予報士、気象防災アドバイザー）
夕方のニュースでおなじみの雨森さんが、今日から役立つ「備え」を分かりやすく講話します
- 福島しあわせ運べるように合唱団との WEB 交流
小学生から大学生までの団員が所属する「福島しあわせ運べるように合唱団」（雨森気象予報士）は、震災の経験と向き合いながら伝承活動を行っています。合唱映像の上映や団員との WEB 交流を通して、災害の怖さと備えの大切さを考える貴重な機会となります
- 防災備蓄品・防災パネルの展示
家庭備蓄の参考になる展示を多数用意します



スポーツセンター 「体験する」～ 避難所・体操・災害 AR モニター

- 避難所体験「実際の備蓄品で避難所を再現」
段ボールベッド、テントなどを設置し、実際の避難所の区画を再現します。見て、触れて、寝て避難所を自由に体験できます
- 段ボールベッド組み立て体験
避難所で役立つ段ボールベッドの組み立てを体験できます
- エコノミークラス症候群予防体操
インストラクターの部田夏子さんと一緒に、避難所生活で起こりやすいエコノミークラス症候群を予防する体操を実践できます
- 災害 AR モニター体験（NHK 北見放送局）
AR モニターで、映像による災害の疑似体験ができます
※AR とは、現実世界にデジタル情報を重ね合わせて表示する拡張技術です。



公民館前駐車場 「動いて学ぶ」～ 炊き出し・給水・消火・車両展示

- 炊き出し（カレー）限定 300 食
災害時を想定した自衛隊によるカレーの炊き出しを実施します
- 給水体験
給水タンク 2 台から、水袋への給水を体験できます
- 煙ハウス体験・消火体験
煙の中での避難の難しさや初期消火のポイントを体験できます
- 高所作業車の乗車体験
普段は乗れない作業車に乗って、高所作業の視点を体験できます
- 車両展示
自衛隊装甲車や消防車など、普段間近で見られない車両を多数展示します



※そのほか、多くの体験・展示ブースを予定しています。

■問合せ 総務課防災危機管理係（☎ 47-2112 役場 2 階 窓口 10 番）

防災用戸別受信機「マゴスピーカー」導入 ～防災情報を「音声」でお届けします～

町では、防災用戸別受信機「マゴスピーカー」を導入し、対象となる世帯へ順次配布・設置します。スマートフォンを持っていない方や操作に不安のある方にも、災害時の大切な情報を音声で確実にお届けすることを目的としています。

また、マゴスピーカーと町アプリを組み合わせることで、誰もが確実に防災情報を受け取れる環境づくりを進めます。

マゴスピーカーの設置申し込み方法や設置時期については、あらためて広報紙や町ホームページなどでお知らせします。

○マゴスピーカーとは

町から配信された情報を自動で音声読み上げし、ランプでもお知らせします。留守中に届いたメッセージは帰宅後に確認でき、再生ボタンで最新の情報を聞き直すこともできます

○配信される情報

- ・地震、風水害などの災害情報
- ・避難情報
- ・Jアラート情報

○対象となる方

- ・75歳以上の一人暮らしの方
- ・夫婦ともに75歳以上の世帯
- ・スマートフォンの利用が難しい方
- ・そのほか防災情報の受信が困難と認められる世帯

○利用するに当たって

通常時は家庭用コンセントに接続し、使用してください。停電時には、電池で一定時間作動します

○ボタン解説

・「再生」ボタン

最新のメッセージ1件を音声で読み上げます

・「無事」ボタン（災害時のみ）

役場に無事を知らせます

・「助けて」ボタン（災害時のみ）

役場に救助が必要なことを知らせます。また、自分の状況説明を30秒間録音して、知らせることができます

※災害時とは、町が災害発生したと判断したときにボタンを押すことができるように設定します。



シェイクアウト訓練を実施

9月1日(火) 午前10時

町では、北海道が実施する「北海道シェイクアウト訓練」に合わせて、午前10時から約1分間、消防のサイレンを合図に地震を想定したシェイクアウト訓練（安全行動訓練）を町内一斉に行います。

サイレンが聞こえたら、それぞれの家庭や学校、職場で机の下に隠れるなどの安全行動訓練を実施し、防災対策の確認をしましょう。

安全行動①－②－③

①



DROP!

②



COVER!

③



HOLD ON!

消防のサイレンが聞こえたら、上記の安全行動を約1分間とってください。合わせて防災用品などの持ち出し準備や点検なども行いましょう。

■問合せ 総務課防災危機管理係（☎ 47-2112 役場2階 窓口10番）

訓子府豊年盆踊り大会

今年も豊年盆踊り大会を開催します。

○と き 8月15日(土) 18時から

○ところ 仲町公共駐車場

※雨天時は町公民館講堂で行います。

○主 催 町産業観光振興協議会

○主 管 盆踊り実行委員会



プログラム	
17:00～	売店販売
18:00～18:30	子ども盆踊り
18:45～19:30	よされ盆踊り、仮装盆踊り ※昨年より子ども仮装盆踊りは大人と統合しています。 ※仮装盆踊りに参加する方は18時20分～40分までに本部テントで受け付けをしてください。
19:45～	表彰式

子ども盆踊りに参加した全員にお菓子詰め合わせをプレゼントします



仮装盆踊り	個人	団体
優勝賞品	15,000円	40,000円
準優勝賞品	10,000円	25,000円
3位賞品	8,000円	15,000円
4位賞品	5,000円	10,000円
5位賞品	3,000円	4,000円
6位賞品	商品券 2,000円	商品券 2,000円
7位賞品	商品券 1,000円	—

※商店街活性化のため、賞金のうち一部はメロンスタンプ商品券とします。

■問合せ 町産業観光振興協議会（☎ 33-5008 役場2階 窓口13番農林商工課内）

北方領土返還要求署名にご協力を

北方領土は、日本固有の領土です。北方領土の早期返還の実現は、道民はもとより全国民の長年にわたる悲願です。

町では、次の場所に署名コーナーを設けます。署名を通じて、国民一人一人の意思を北方領土返

還実現に反映させましょう。

○と き 8月1日(土)～31日(月)

○ところ 町公民館ロビー

※皆さんからいただいた署名は、北海道を通じ衆議院および参議院に提出されます。

■問合せ 総務課庶務係（☎ 47-2112 役場2階 窓口10番）



8月は北方領土返還強調月間です

地域おこし協力隊が着任

新たに1人の地域おこし協力隊が着任しました。
今回着任した隊員の任期は、令和8年7月から令和9年3月まで（最長3年間まで延長可能）となっています。

- 隊員 三輪 寧々花
- 前住所 帯広市
- 年齢 24歳
- 好物 卵焼き
- 活動テーマ まちづくり会社運営

■活動内容 ○まちづくり会社の企画や立案、事業推進に関すること全般
活動テーマのほかに共通業務として、①地域おこしの提案と実践②協力隊員同士の連携・協働活動③地域活動への参加および参画（自治会活動・イベント・祭りなど）④そのほか、各種まちづくり事業への参加を設定しています。

地域などの集まりには積極的に参加しますので、気軽にお声掛けください。



地域活性化起業人が着任

■訓子府町の新たな観光づくり

町では、令和8年6月から観光振興基盤形成とプロモーション支援について、2人の地域活性化起業人を受け入れています。

今回の2人は「副業型」として、それぞれの勤務先に在籍しながら定期的に訓子府町を訪れ、町民や事業者、関係団体、町職員などと連携して活動します。

■地域の魅力を見つけ、育て、伝える

観光振興基盤形成支援を担当する起業人は、関係者へのヒアリングや現地調査を行い、地域資源を掘り起こしながら、訓子府町の特性に合った観光政策の方向性を探ります。また、町民を対象とした勉強会などを通じて、観光が地域にもたらす効果や地域資源の生かし方を共有し、観光に取り組む機運を高めていきます。

プロモーション支援を担当する起業人は、農村風景や町民の姿、農業、食、地域で行われている活動などを取材し、企画から撮影、編集まで一貫して行います。町外の方に「行ってみたい」「関わってみたい」と感じてもらえる映像を制作するとともに、撮影や情報発信のノウハウを町民や事業者に還元します。

2人の専門性を生かし、日常にある地域の宝を再発見して観光へと育て、その魅力を町内外へ分かりやすく伝えることで、町民の誇りと新たな交流につながる観光づくりを進めます。

■新たに着任した地域活性化起業人の紹介

○観光振興基盤形成支援

- ・氏名 鮫島 卓
- ・所属企業 駒沢女子大学観光文化学部教授
- ・業務分野 地域資源の調査・発掘、観光政策の方向性整理、住民向け勉強会などを通じた観光地域づくり



○プロモーション支援

- ・氏名 岡田 修一郎
- ・所属企業 株式会社 LAESSE Creavia 映像制作チーム「Dougact」
- ・業務分野 観光プロモーション動画の企画、取材、撮影、編集、発信および動画制作ノウハウの共有



■問合せ 経済振興室振興係（☎ 33-5008 役場2階 窓口13番）

訓子府町移住体験制度

町では、移住を目的とした滞在を希望される方を対象に滞在期間に合わせた2つの移住体験制度を運用しています。

①訓子府町体験宿泊費補助制度

3日から7日間の滞在を希望される方に町内の宿泊施設を利用して、宿泊関連費用の2分の1の額（1泊上限4,000円）を助成します

※宿泊される前に補助決定が必要です。

②訓子府町移住体験住宅貸付制度

7日から30日間の滞在を希望される方は、家具などを備えた移住体験住宅を貸し付ける制度をご利用ください。貸付料は1日当たり2,000円（電気代、回線使用料、ガス代、水道料込み）で、灯油は使用した分を給油し返還していただきます

※利用を希望する14日以上前に申し込みをしてください。詳細については下記QRから町ホームページをご覧ください。



首都圏において訓子府町食材キッチンカーが出店

町では、町産農畜産物の認知拡大や販路拡大、関係人口の創出を目的として、令和7年5月から令和8年3月まで、首都圏でキッチンカーを活用したプロモーション事業を実施しました。

町の特産品であるタマネギを使った「タマネギたっぷり豚カルビ丼」を中心に販売し、冬季には町内の太田醸造有限会社の麴を使った「タマネギ麴スープ」も提供しました。都内のマルシェやオフィス街などに継続的に出店し、首都圏の皆さんに訓子府町の食材を味わっていただきました。

令和7年度は、ヒルズマルシェ、TOKYO TORCH Market、東京女子医科大学周辺、東京スイミングスクール、都立東綾瀬公園など、都内各地で合計98回出店しました。食体験者数は2,681人で、町産タマネギを約230kg使用しました。

また、のぼりや看板の設置、パンフレットの配布、インスタグラムでの情報発信などを通じて、推定延べ7万6,000人が来場・通行する会場で、訓子府町の名前や町産食材を発信しました。

キッチンカーによる取り組みは、単なる広告や物販にとどまらず、町産食材を実際に食べる体験を通じて、町を知ってもらえることが特徴です。ランチ需要に対応したメニューにより、マルシェの来場者だけでなく、周辺で働く人たちにも町産食材を届けることができました。

令和8年度は、出店先の確保や運営体制の強化に取り組むとともに、新メニューの開発にも力を入れます。タマネギに加え、町内の酪農から生産される牛肉や太田醸造有限会社のすずらん味噌など、活用する町内産品を広げていく予定です。

今後も、首都圏での継続的な情報発信を通じて、町産農畜産物の魅力を伝え、町を知り、応援してくれる人を増やしていきます。



この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

■問合せ 経済振興室振興係（☎ 33-5008 役場2階 窓口13番）

国土利用計画法に基づく土地取引の届け出のお知らせ

一定面積以上の土地取引には届け出が必要です。

土地の売買・賃貸・交換・営業譲渡など、一定面積以上の土地取引に係る契約をした場合には、国土利用計画法の規定により、その土地が所在する市町村に届け出が必要です。

○届け出の対象となる面積

本町の場合、全域が都市計画区域外のため1万㎡以上の取り引きが対象となります

○届出者 土地の権利取得者（買い主など）

○届出期限 契約締結から2週間以内

※届出期限を過ぎた場合でも、届出書の提出にご協力をお願いします。

○罰 則

届け出をしなかった場合、6か月以下の懲役または100万円以下の罰金に処されることがあります

○提出書類

次の書類を町に提出してください（各3部）

- ・土地売買等届出書
- ・土地売買等契約書の写し
- ・土地およびその付近の状況を明らかにした縮尺5,000分の1以上の図面
- ・土地の形状を明らかにした縮尺500分の1から2,000分の1程度の図面
- ・委任状（代理人が届け出する場合）

○届け出・問合せ

〒099-1498 常呂郡訓子府町東町398番地
訓子府町役場政策推進課（☎0157-47-2115）

令和9年度コミュニティ助成事業を募集

一般財団法人自治総合センターでは、全国自治宝くじの普及広報事業費として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的に「コミュニティ助成事業」を実施しています。

この事業は、コミュニティ活動に必要な設備の整備などに対する助成を行う事業で、町内会・実践会やNP0、自主防災組織、文化・スポーツ団体などが主な対象団体になります。単年度事業となりますが、地域における共同事業やコミュニティ活性化のため、取り組みたい事業があれば、ぜひこの助成事業の活用をご検討ください。

○主な助成事業の内容（助成金は全事業10万円単位での交付となります）

1. 一般コミュニティ助成事業

【助成金…100万円～250万円（補助率10/10）】
住民が自主的に行うコミュニティ活動に直接必要な設備の整備に関する事業

2. コミュニティセンター助成事業

【助成金…上限額2,000万円（補助率3/5以内）】
集会施設（コミュニティセンター・自治会集会所など）の建設整備に関する事業

3. 青少年健全育成助成事業

【助成金…30万円～100万円（補助率10/10）】
親子で参加するソフト事業（レクリエーション活動に関する事業、文化・学習活動に係る事業など）

○過去に対象となった事業

- ・会館の建て替え費用の一部
- ・草刈り機など購入費用
- ・地域集会場活動備品（テーブル・椅子など）購入費用
- ・屋外イベント用テント購入費用など

○助成対象団体

市町村が認めるコミュニティ組織（自治会や町内会などの地域に密着した団体またはその連合体）

○申請期限 8月24日(月)まで

○申請方法 政策推進課に申請してください

※申請を希望する団体が複数となった場合は「訓子府町コミュニティ助成事業（一般コミュニティ助成事業）申請審査基準」に基づき、申請団体を選考することがありますのでご了承ください。

■問合せ 政策推進課企画広報係（☎47-2115 役場2階 窓口11番）

第20回まちづくり推進会議を開催

第20回まちづくり推進会議を7月6日に町総合福祉センター多目的研修室で開催しました。

まちづくり推進会議とは、町民が主体的にまちづくりに参加できるよう町民の意見をまちづくりに反映させることを目的として、定期的に行っている町民参加型会議のことです。

今回のまちづくり推進会議では、講師の北海道大学大学院工学研究院 森 傑教授より、訓子府町の今後のまちづくり「まちの整体」と題して講演を行いました。

※会議の内容については、紙面の関係上、省略しています。

詳細な会議の結果については、右記QRから町ホームページまたは、まちづくり情報コーナー（役場庁舎1階、町図書館）でご確認ください。



■問合せ 政策推進課企画広報係（☎47-2115 役場2階 窓口11番）

今年の敬老祭は9月4日に開催

町主催の敬老祭を9月4日(金)に開催します。

今年で75回目となり、余興と料理で招待者の皆さんをお祝いさせていただきます。

招待者については下の表に該当する皆さんにご案内します。8月初旬には出席確認のために往復はがきを郵送しますので、8月7日(金)までに返送してください。

また、当日会場で配布する「しおり」には出席される方の住所と氏名を掲載しますが、掲載の可否については事前確認が必要となりますので、招待状がお手元に届きましたら、住所と氏名の掲載を希望しない方は、返信用はがきの「掲載しない」欄に「○」を記入してください。

なお、「掲載を希望しない」と意思表示がない方は、同意いただいたものとして名簿に掲載させていただきますのでご了承ください。

※名簿が掲載された「しおり」は、参加者および来賓の方にのみ配布します。

敬老祭では、たくさんの方のご出席をお待ちしています。

※くんねっぴ静寿園に入所されている方については、例年どおり静寿園で開催される敬老会でお祝いします。

第75回敬老祭招待者		
節 目	生まれた年	
新規招待者	数え年75歳	昭和27年生まれの方
喜寿77歳	数え年77歳	昭和25年生まれの方
傘寿80歳	数え年80歳	昭和22年生まれの方
半寿81歳	数え年81歳	昭和21年生まれの方
橋寿84歳	数え年84歳	昭和18年生まれの方
米寿88歳	数え年88歳	昭和14年生まれの方
卒寿90歳	数え年90歳	昭和12年生まれの方
珍寿95歳	数え年95歳	昭和7年生まれの方
白寿99歳	数え年99歳	昭和3年生まれの方
100歳以上の方	昭和2年12月31日までに生まれた方	



▲昨年の敬老祭

■問合せ 福祉保健課社会福祉係（☎47-5555 総合福祉センター 窓口7番）

訓中野球部・ソフトボール部・女子バレーボール部 全道大会出場

中体連オホーツク管内大会が6月、7月に開催され、訓子府中学校野球部（太田^{ひょうが}主将、部員23人中訓中16人、置戸中7人）、ソフトボール部（久積^{れいり}あすか主将、部員12人）、女子バレーボール部（道原^{みづはら}玲梨主将、部員12人）は優勝し、全道大会出場が決まりました。

7月17日に各部の主将と副主将、顧問が役場を訪れ、伊田町長に「勝利をめざして後悔のないよう全力で試合に挑みます」と抱負を述べました。

野球部は7月28日に帯広市で上富良野中学校と、ソフトボール部は7月26日に倶知安町で音更町立下音更・共栄中学校と、女子バレーボール部は8月5日に江別市でS-Proud colore（日高代表）と初戦が行われます。



交通規制のお知らせ（水道老朽管更新工事）

老朽管更新工事のため、町道幸町線および南1条線・東1丁目線の一部区間で片側通行、または全面通行止めとなります。

工事期間中は、一般車両の通行および住宅への出入りなどご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、交通規制を実施する期間などは、次のとおりとなっています。

交通規制区間	①町道幸町線（西幸町北6条線～南12線） ②町道南1条線（末広線～東2丁目線）、 町道東1丁目線（道道北見置戸線～南13線）
交通規制期間	①7月中旬～11月下旬まで ②8月下旬～12月下旬まで
工事名	①片側通行・全面通行止め ②片側通行
事業主体	上下水道課施設係

■交通規制箇所図



■問合せ 上下水道課施設係（☎ 47-2118 役場1階 窓口5番）

新しい農業委員が決まりました

農業委員会会長に林 浩幸さん

町の新しい農業委員14人が決まりました。任期は、令和8年7月20日から令和11年7月19日までの3年間です。

3月に推薦・募集により応募がありました14人が6月の定例町議会で同意され、7月20日に町長の任命を受けました。7月21日に開かれた農業委員会総会で会長、会長職務代理者などの役職が決まり、今後、農地利用の最適化、遊休農地の発生防止などの活躍が期待されます。

■会長

■会長職務代理者
兼農政部長

■農地部会長



林 浩幸さん
（駒 里）現



古沢 栄一さん
（日 出）現



近藤 覚さん
（福 野）現



佐藤 茂樹さん
（穂 波）新



福田 恵子さん
（大 谷）新



織田 賢さん
（協 成）新



泉 愉美さん
（日 出）現



小池 寿幸さん
（柏 丘）新



小松 寿治さん
（西 富）現



中西 浩司さん
（豊 坂）新



高橋 茂樹さん
（大 谷）現



佐藤 浩基さん
（高 園）現



小野 勝良さん
（実 郷）新



齊藤 博行さん
（高 園）現

■問合せ 農業委員会（☎ 47-2204 役場2階 窓口12番）



- 今月の夜間町長室開放は8月12日（水）です（Web会議ツール「Zoom」も可能）
ご予約は政策推進課（☎ 47-2115）まで 開設時間 18時30分～20時30分
- 「町長への手紙」を実施しています
投函場所 役場庁舎1階、町公民館、町スポーツセンター、町図書館

夏を彩るふるさとまつり

お知らせ

訓子府町の夏を彩る「第47回くねっぷふるさとまつり」が、7月11日に中心街、12日は常呂川河川敷地の特設会場で開催され、2日間で町内外から約6,000人が来場し、夏のひとときを楽しみました。

前夜祭の11日は雨が降ったり止んだりする天気の中、フラダンスやヒップホップダンス、訓子府音頭、お楽しみ抽選会、大道芸、行灯パレード、夜空を彩る花火が240発打ち上げられ、多くの人でにぎわいました。

12日の本祭では、途中大雨に見舞われましたがキッチンカー9台を含むたくさんの出店や子どもコーナー、キャラクターショー、バブル相撲、吹奏楽演奏、歌手の夏川りみさんとお笑い芸人の山本高広さんをゲストに迎えた「歌と笑いのステージ」などのイベントが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。



本祭と前夜祭合わせて約 6,000 人が来場

お知らせ



みんなのひろば



人いきいき

新生活を二人で満喫したい

親里 榮久さん（西幸町 81歳）
睦子さん（西幸町 72歳）

今年2月に大阪府から本町に移住した榮久さん・睦子さん夫妻。「訓子府町での新生活が始まりました。健康に気を付けて、充実した毎を送りたい」と抱負を話していました。

2人は以前から北海道に関心があり、大阪府東淀川区で生活していた令和7年6月に、地元

で開催された「北海道移住相談会」で本町のブースを訪れました。

本町の担当者から説明を受けて興味を持ち、令和8年1月に本町で移住体験住宅に滞在し、1週間の移住体験を経て、2月に転入しました。

「移住体験を通して訓子府町が気に入り、移住を決めました。移住体験の期間に冬の寒さや除雪も経験しましたが、訓子府町での生活をイメージすることができ、良い経験となりました」（榮久さん）

「訓子府町の人は優しくて親切な方が多く、移住してきた私たちを受け入れてくれて感謝しています。町内ですれ違ったときにあいさつしてくれる方が多く、小学生も元気良くあいさつしてくれてうれしいですね。大阪府で生活していたときには経験できなかったことです。訓子府町は静かな環境で騒音もなく、理想的な生活環境です。今後は大阪府の友人にも会いに行く予定でこちらも楽しみです。訓子府町で楽しく生活できるように心掛けていきたいですね」（睦子さん）

「銀河農園を借りて、枝豆やアスパラガスなどさまざまな野菜を育てています。家庭菜園は初めての経験ですが、知り合いになった町内の方に教えてもらいながら楽しんでいます。旅行が趣味なので、これからも道内を中心にいろいろな場所へ行きたいです。また、スポーツセンターを利用し、健康に気を付けて生活したいですね」（榮久さん・睦子さん）



大槻一男ホナウド隊員が伝える訓子府町の魅力紹介



▲左上写真の左端がホナウド隊員、右端がカリナ跡治さん

訓子府町出身でブラジルへ渡った跡治忠吉さんの孫のカリナ跡治さんと交流しました。

約2年間 SNS で訓子府町の情報を発信してきたことで、「訓子府」を検索した際に私のInstagramを見つけて来町されました。短い滞在でしたが、町民の方との交流を通して、祖父の故郷である訓子府町の暮らしや魅力を感じてもらう機会になりました。SNSでの魅力発信が国境を越え、ブラジルと訓子府町の国際交流につながったと感じています。

Instagram ▶



Facebook ▶



地域おこし協力隊だより（杉山 恵美）

末広ストアーを引き継いでから、4か月が経ちました。地域の皆さんとの交流やクリーニングの取り次ぎ、学校給食センターやこども園への配達など、慣れない仕事を一つ一つ覚えながら、夢中で駆け抜けてきました。

現在、機械の故障により、店舗を休業しています。日ごろから利用してくれている皆さんには、ご不便とご迷惑をお掛けしており、心よりおわび申し上げます。

今回の休業を機に、末広ストアーをさらに楽しく、地域に必要とされる場所へ育てていきたいと思ひます。

また元気に皆さんを迎えられるよう株式会社ぶらしく、前向きに一步步取り組んでいきます。もうしばらく、温かく見守っていただけるとうれひです。



短歌 訓子府短歌会

※作品は、「訓子府短歌会」の選定により掲載しています。

「ごんには」声が聞こえる軒下によきつと二本「あつアスパラだ」	末広町 佐藤 末子
にわかファンオフサイドなど知らぬまま決めるゴールに腕を突き上げ	埼玉県 石川 知子
長閑なる白鷺と共に代掻きて洩れる鼻歌田面を流がる	愛知県 植田 重信
過去思ひ行けば遙かな人生のそれはまだ見ぬ懺悔の通り	西幸町 長江 建夫
甥っ子の転校初の運動会頑張る雪翔に送る声援	北見市 小泉 智也
この道は通院重ねた母の道今日は無言の母帰る道	西幸町 及川乃里子
たまねぎの青葉が裂ける電被害ふきの葉までも大きな穴あく	大町 佐藤 幸子
新緑を迎へし里は爽やかに風吹き抜ける玉葱街道	清住 太田 豊
悠久の常呂遺跡より見つけかりし縄文土器はフクロウに似て	西富 山本 祐一
花植えて息子の好きなヒマワリを空の果てから見てくれるかな	日出 山内スミエ
校長は教え導く生涯を短歌に詠みて歌碑を建てらる	旭町 瀬谷 隆夫
妻さわぐ「頭の赤いカラスいる」見ればクマゲラ「暫しいたまえ」	大谷 昆野 範雄
映さるる孫の婚礼写メールに家族となりて生きる力に	東幸町 中島 玲子



6/23

バレーボール少年団 全道大会出場報告

第46回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会支部予選が5月17日に美幌町で開かれ、バレーボール少年団訓子府ウインズ（混合）が優勝し、北北海道大会出場を勝ち取りました。

選手と関係者は役場を訪れ、伊田町長に大会出場を報告。今野楓真主将（居小6年）は「最後まで諦めずに全力で戦い勝利をめざします」と意気込みを語りました。大会は6月27日に稚内市で白人シャイニング（幕別町）と戦い、当日は持てる力を十分発揮し健闘しました。



6/28

つながる初夏マルシェ

手作りの雑貨や町内で生産された農産物などを販売する「つながる初夏マルシェ」が町公民館で行われました。

当日はブローチやポーチなどの小物や野菜、焼き菓子などの商品のほか、駐車場では16台のキッチンカーが出店しました。

そのほか、アイシングクッキーや速読などの体験ができる多目的ブースが設置され、大勢の来場者で会場は大いににぎわいました。



7/5

温水プールKAPPA 来場者80万人到達

町温水プール KAPPA の来場者が80万人に到達しました。平成7年にオープンした町温水プール KAPPA は4月下旬から11月上旬まで利用することができ、町内外から大勢の方が利用しています。

当日、80万人目の利用者となった北見市の神尾哲太さんと二葉さんきょうだいに高橋教育長より、記念品とプール無料券を贈呈しました。

2人は「KAPPA プールには、家族で毎年来ているのでとてもうれしいです。これからもたくさん利用したいです」と笑顔で話していました。



7/15

戦没者追悼式

令和8年度訓子府町戦没者追悼式が忠魂碑前で行われ、ご遺族や関係者39人が参列しました。

戦没者に対して黙とうを行ったあと、伊田町長の式辞に続いて、参列者一人一人が献花し、英霊を追悼しました。

町の戦没者は、ご遺族の所在が不明な方も含め、224柱となっています。また、町内の遺族81人、町外が100人となっています。



7/4

第23回野外ふれあい コンサート

音楽を通して地域との交流を深める「第23回野外ふれあいコンサート」が、町日ノ出地区ふれあいセンター前庭で行われました。子どもから大人まで町内外から参加し、多彩な10のプログラムで盛り上がりしました。最後は参加者全員でこっちのけんさんの「それもいいね」を歌いました。

来場者は「ステージと会場が一体となって、盛り上がることができました」と笑顔で楽しんでいました。



7/5

第52回音楽の広場

音楽の広場が町公民館で行われ、バイオリンやオカリナ、サクソ4重奏、吹奏楽など町内を中心に7団体の演奏が行われました。

最後は出演者合同演奏の「風になりたい」で、会場が一体となって締めくくりました。

来場者は「友人や知人が出演しているので、毎年楽しみにしています。素敵なひとときを過ごせました」と、夏の一日を楽しんでいました。



7/22

給食のデザートに メロン贈呈

町メロン振興会から給食用のデザートとして、町給食センターとわくわく園にくんねっぴメロンが贈呈されました。

水上勝弥会長らは「今年もおいしいメロンが収穫できました。地元の子どもたちに、おいしいくんねっぴメロンを食べてほしいです」と話していました。

くんねっぴメロンは各学校とわくわく園で給食メニューとして提供され、各クラスでは子どもたちの笑顔があふれていました。

今月の1枚



まちの素敵な瞬間を紹介しています。
今月は7月13日に行われた夏の交通安全運動です。



◀ QR がついている記事は詳細情報をウェブで公開しています

くらしの 伝言板

■人の動き

6月末現在（前月比）
人 口：4,351人（± 0）
男：2,127人（+ 3）
女：2,224人（- 3）
世帯数：2,100世帯（+ 6）



■救急・火災

令和8年1月～6月末
救 急： 122件
火 災： 6件



使用料などの納期限

8月25日	児童クラブ保育料、学校給食材料費、上下水道料金、特定公共賃貸住宅使用料、町有住宅貸付料
8月31日	町営住宅使用料、定住促進住宅使用料、固定資産税（第2期）、国民健康保険税（第3期）、介護保険料（普通徴収第3期）、後期高齢者医療保険料（第2期）



訓子府町民憲章

1. 自然の恵みに感謝し、美しい町をつくります。
 1. 元気に働き、豊かな町をつくります。
 1. きまりを守り、明るい町をつくります。
 1. たがいに助け合い、楽しい町をつくります。
 1. 未来に希望をいだき、文化の町をつくります。
- 【昭和45年8月1日制定】

夜間納税相談および収納窓口開設のお知らせ

日中、仕事などの都合により、納税相談や納付に出向くことが難しい方に、次のとおり夜間納税相談および収納窓口を開設します。

収納窓口では税のほか、使用料など（町に関係するものに限り）も納付することができます。

- と き 8月12日(水)・9月9日(水)
17時30分～20時
- ところ 町民課窓口
- 問合せ 町民課税窓口（☎ 47-2193）

固定資産税・国保税の納期限は8月31日

固定資産税第2期分と国保税第3期分の納期限は、8月31日(月)です。納期限内に忘れずに納めましょう。

納期限を過ぎた町税で、納め忘れの方は至急納入してください。

- 問合せ 町民課税窓口（☎ 47-2193）

個人事業税の第1期納期限は8月31日

個人事業税は、個人が地方税法などで定められた事業を営む場合に、その所得を基礎として課税される税金です。

北海道から送付される納税通知書は、第1期（8月31日期限）と第2期（11月30日期限）が一緒に送付されますので、それぞれの納期限までに納めてください。

※第2期分の納付書は紛失しないよう注意してください。

eL-QR や eL 番号が記載されている納付書があれば、自宅やオフィスなどから、スマートフォンやパソコンなどを利用してキャッシュレスで納税できますので、地方税お支払サイトのご利用・ご確認をお願いします。

地方税の支払いや個人事業税などの詳細は下記QRをご覧ください。

- 問合せ
オホーツク総合振興局北見道税事務所
・課税に関すること（☎ 25-8681）
・納税に関すること（☎ 25-8686）

地方税
お支払
サイト



道税
ホーム
ページ



消費税および地方消費税（個人事業者）の中間申告と納付のお知らせ

個人事業者の方で、令和7年分の確定消費税額（地方消費税額を除く）が48万円を超える方は、中間申告と納付が必要です。

- 中間申告および納付の期限
8月31日(月)
- 振替納税の振替日
9月29日(火)

※詳細については、右記QRをご確認ください。

- 問合せ 北見税務署（☎ 23-7151）



▲中間申告の方法

墓参の供物などは持ち帰りましょう

お墓参りの供物（花を含む）やごみなどは、必ず持ち帰りましょう。

特に供物は、カラスやキツネが散らかしますので、必ず持ち帰ってください。

また、家庭で使った「盆ちょうちん」「御霊供膳」などの仏具は、墓地に捨てないでください。

- 仏具類の処分方法

- ①「分別収集のてびき」を見て分別する。不明な点は、役場にお問い合わせください
 - ②処理業者（お焚き上げ）に処分（有料）を依頼する
 - ③仏具類の買い替えのとき、販売店に引き取りを相談する
 - ④寺院などに相談する
- 問合せ 町民課町民生活係（☎ 47-2203）

「地方創生伴走支援制度」対象自治体に選出

政府では、地方創生2.0の推進に向け、国の職員がこれまでの経験などを生かして、自らの仕事を行いつつ、地方創生に携り、課題を抱える中小規模の自治体に寄り添った伴走支援を実施する「地方創生伴走支援制度」に令和7年度から取り組んでいます。

今回、「令和8年度支援対象自治体」（全国97市町村）が公表され、本町が選出されました。

本町を担当していただく伴走支援チームは、文部科学省、金融庁、特許庁からの3人で、本町の地方創生伴走支援に携っていただき、今後、本町の課題や可能性に向き合いながら、伴走支援チームと協議などを進めていく予定です。

- 問合せ 地域創生推進室推進係（☎ 47-2115）

くらしの伝言板

全国一斉「子どもの人権相談」強化週間

「子どもの人権110番」は、学校における「いじめ・体罰」や家庭内における児童虐待など、子どもが発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用相談電話です。

法務局と人権擁護委員連合会では、8月27日(木)から9月2日(水)までの一週間を全国一斉「子どもの人権相談」強化週間と定め、時間を延長して電話相談に応じています。

- フリーダイヤル
☎ 0120-007-110（全国共通）
- と き
平日：8時30分～19時
土・日曜日：10時～17時
- 相談担当者
釧路人権擁護委員連合会の人権擁護委員・釧路地方法務局職員
- 問合せ 釧路地方法務局人権擁護課
（☎ 0154-31-5014）

※強化週間以外の相談受け付けは、平日8時30分～17時15分までです。（土・日曜日、祝日を除く）

特定不妊治療費助成

町では、特定不妊治療を受けている方の経済的負担を軽減するために、特定不妊治療に要した医療費および調剤費について、医療保険適用後の自己負担額を助成します。また、不妊治療と併用して実施した先進医療にかかった治療費の自己負担額の一部を助成します。

- 対象者
夫婦（事実婚含む）のいずれかが訓子府町に住所を有する方で、女性が治療開始時において43歳未満の方
- ※他の市町村で同一の治療に対し、助成を受けた方は対象になりません。助成額などの詳細については、下記QRよりご確認ください。
- 問合せ
福祉保健課こども家庭支援係（☎ 47-5555）



◀ 不妊治療費助成について

特定不妊治療費助成について▶





◀ QR がついている記事は詳細情報をウェブで公開しています

児童扶養手当・特別児童扶養手当の届け出を提出

児童扶養手当または特別児童扶養手当を受給されている方は、現況届または所得状況届を提出することになっています。

この届け出をしないと、8月以降の手当を受けられなくなりますので、お忘れにならないようご注意ください。

○提出期間

・児童扶養手当現況届

8月3日(月)～31日(月)

・特別児童扶養手当所得状況届

8月12日(水)～9月11日(金)

○提出場所 福祉保健課社会福祉係

○持参するもの

児童扶養手当証書、印鑑など

※対象者には福祉保健課から文書で届け出に必要な書類を同封し、お知らせします。

○問合せ 福祉保健課社会福祉係 (☎ 47-5555)

バスカードの利用終了および払い戻しのお知らせ

北見バスのICバスカード(緑色)の利用期間が6月30日に終了しました。7月1日から1年間で払い戻し期間となっていますので、チャージ残高が残っていて払い戻しを希望する方は北見バスターミナルで手続きをしてください。

なお、北見バス営業所の訓子府町商工会では払い戻しできません。

○問合せ

北海道北見バス株式会社 (☎ 0570-007788)

政策推進課企画広報係 (☎ 47-2115)

電気自動車の貸し出しを開始

町では、電気自動車普及啓発のため、8月1日より役場閉庁日(9月の大型連休および年末年始を除く)に電気自動車1台の貸し出しを行います。貸し出しには、15日前までの予約確認と10日前までの事前申し込みが必要です。

また、閉庁日であっても、職員が公務で使用している場合はご利用いただけません。

※詳細は右記QRをご覧ください。

○問合せ 住宅施設課公共施設管理係 (☎ 47-2117)



8月は道路ふれあい月間 道路の清掃にご協力を

安全で快適な道路環境を保つため、国土交通省では、8月10日を「道の日」と定め、8月を「道路ふれあい月間」としています。

建設工事や農作業などの車両の出入りに伴い、敷地出入り口付近の道路の汚れが目につきます。

道路の管理上、または交通安全の面からも、道路を汚したときは、当事者が責任を持ってきれいに清掃をお願いします。

道路敷地内での工事、その他の行為については届け出が必要です。届け出がない場合は法律で罰せられることがありますので、事前にご相談ください。

○問合せ 建設耕地課土木管理係 (☎ 47-2117)

海上保安大学校学生募集

海上保安大学の学生を募集します。

○受付 8月20日(水)～9月7日(月)

※試験日程、申し込み方法などの詳細は、右記QRからご確認ください。

○問合せ

紋別海上保安部管理課 (☎ 0158-23-0118)



道民生活応援ポイント給付事業 くらし応援 HOKKAIDO

北海道では、物価・エネルギー高などの影響を受けている道民の皆さんの負担軽減の一助となるよう、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、食料品をはじめとした生活必需品などの購入に利用できるポイントなどを給付します。対象となる世帯主の方には、案内のながきが送付されています。

○対象者 令和8年5月1日時点で北海道に住所を有する全世帯主

○申請期間 11月16日(月)まで

○申請方法

・アプリ申請の方

ながきのQRをスマートフォンで読み取ることで、アプリをダウンロードしてポイントが受け取れます

※ポイントの受け取りには、マイナンバーカードの読み取りが必要です。

・郵送申請の方

ながきの返信部分を切り取り、返送してください

※詳細は右記QRをご覧ください。

○問合せ ポイント等利用者向け窓口 (☎ 0120-842-076)



認定こども園園開放 「みんなおいでよなつかし day's」

○とき 8月4日(火)～6日(木)9時～11時30分
※8時45分～9時までに認定こども園で受け付けをしてください。

○ところ 町認定こども園

○対象者 小学1年生～中学3年生

○内容 園児と一緒に遊ぶ

※事前にこども園へ申し込みをしてください。

※小学1、2年生は保護者同伴が可能ですので、申し込み時にお知らせください。また、食べ物、おもちゃ、ゲームの持ち込みはできません。

飲み物、タオル、着替えは必要に応じて持参してください。

○申込み・問合せ 認定こども園 (☎ 47-2622)



町営住宅入居者募集

団地名	建設年度	種別	面積 (㎡)	月額家賃	付帯設備など
末広団地 28号 (末広町146番地) ※単身入居可能です。	平成16年	1LDK (平屋)	45.36	14,700円～ 33,900円	FFストーブ、ユニットバス、灯油タンク、灯油ボイラー、テレビアンテナ、物置

単身者住宅入居者募集

団地名	建設年度	種別	面積 (㎡)	月額家賃	付帯設備など
メゾン銀河 3号室 (元町92番地)	平成5年	1LDK (2階)	32.40	25,000円	FFストーブ、ユニットバス、灯油タンク、灯油ボイラー、テレビ・BSアンテナ、車庫、物置

○申込受付期間 8月3日(月)～12日(水)

○申込み・問合せ 住宅施設課住環境係 (☎ 47-2117)

※入居資格や申し込み方法については、お問い合わせください。



◀ 公営住宅などの情報はこちら

夜間／日曜・祝日診療

夜間や休日昼間の急病の際は、休日夜間急病センターで診療を行います。受診を希望される方は、事前に電話連絡をお願いします。

■北見市休日夜間急病センター

(北見市北3条東1丁目21番地 ☎ 25-0099)

○日曜日、祝日など診療(日曜日・祝日・年末年始)

・診療科目 内科・小児科・外科

・診療時間 9時～17時

○夜間診療(年中無休)

・診療科目 内科・小児科

・診療時間 19時～翌日7時

8月の日曜歯科当番医

2日(日)、9日(日)

耳鼻咽喉科麻生北見病院 (☎ 23-4134)

11日(火) 緑町歯科医院 (☎ 36-8148)

16日(日)、23日(日)、30日(日)

耳鼻咽喉科麻生北見病院 (☎ 23-4134)

※診療は9時～12時まで(祝日は13時まで)です。また、当番病院は急きょ変更になる場合があります。



◀ QR がついている記事は詳細情報
をウェブで公開しています

くらしの伝言板

自衛官募集

自衛隊帯広地方協力本部北見地域事務所 ☎ 23-6826

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日（1次）
一般曹候補生（一次）	18歳～33歳未満	9月1日(火)まで	9月21日(月)または22日(火)：北見
2等陸・海・空士		年間を通して	9月24日(木)～25日(金)：美幌

災害で被災した皆様に支援のお願い

◇大槌町林野火災による災害義援金	0円（令和8年8月31日まで）
◇令和6年能登豪雨災害義援金	0円（令和9年3月31日まで）
◇令和6年能登半島地震災害義援金	70万8,639円（令和9年3月31日まで）

町民の皆さんの支援をお願いいたします。

※金額は、令和8年6月末現在の義援金額です。

■問合せ 町社会福祉協議会 ☎ 47-3536 総合福祉センター内

わたしたちの国民年金

10月から国民年金保険料の 育児免除制度が始まります

子どもを養育する国民年金第1号被保険者について、子どもが1歳になる誕生日の前月までの国民年金保険料が免除される制度です。

申請することで、所得に関係なく国民年金保険料の納付が免除されます。また、免除された期間は、納付した場合と同じように老齢基礎年金の受給額に反映されます。第1号被保険者であれば夫婦ともに対象です。すでに保険料を納付している期間や国民年金保険料免除などが承認されている期間についても、育児免除期間として取り扱われ、納付した保険料は充当または還付されます。

■対象者

令和8年10月1日以降、1歳になるまでの子どもを養育する国民年金第1号被保険者の実父母、養父母
子どもを養育する要件として、次の全てを満たしている必要があります。

①子どもと親子関係が継続していること

②子どもと同一住所であること

※第3号被保険者の方は対象外です。

■免除期間

【実母の場合】

産前産後免除期間と合わせて最大13か月間、国民年金保険料が免除されます。

【実父または養父母の場合】

子どもが1歳になる誕生日の前月までの最大12か月間、国民年金保険料が免除されます。

【令和8年10月より前から子どもを養育していて、制度施行時点で1歳未満の場合】

・実母の場合

産前産後免除終了から9か月を経過する前月まで

・実父または養父母の場合

子どもが1歳になる誕生日の前月まで

■問合せ

- ・北見年金事務所 ☎ 25-8703
- ・町民課戸籍年金係 ☎ 47-2203

北見年金事務所へ行く際は、
前日までに電話予約を



8月は「食品衛生月間」

厚生労働省では、食品衛生管理の徹底のため、8月を「食品衛生月間」と定めています。これからの時期は気温や湿度が上がり、特に細菌性食中毒（腸管出血性大腸炎 O157、カンピロバクター、サルモネラ菌など）の発生が多くみられます。食中毒予防の三原則を徹底し、調理や食事の際には気を付けましょう。

①つけない

せっけんを用いて丁寧に手を洗い、調理器具の洗浄をこまめに行いましょう

②ふやさない

生ものや調理済みの食品を室温に長時間放置せず、食べきれないものは早めに冷蔵庫へ保存しましょう

③やっつける

中心部までしっかりと加熱し、調理器具やキッチン周りを消毒しましょう



肉を焼くときに使用する箸やトングには細菌がついています。

食べるときは、必ず別の清潔な箸を使うようにしましょう。細菌やウイルスは熱に弱いので、中までしっかりと火を通すことで菌を死滅させることができます。

また、屋外での食材の取り扱い、衛生管理を十分に行い、保管方法や温度に気を付けて行いましょう。



子育て情報を紹介

ひだまり

子育て支援センター ☎ 47-3039



今月の
予定表▶



親子たいむ	8月3日(月)、24日(月) 13時30分～16時30分
こぐま・うさぎひろば	8月4日(火)10時～11時30分
ひよこひろば	8月25日(火)10時～11時30分
ランチたいむ	8月25日(火)11時30分～12時30分
ちょこっとひだまり	8月25日(火)14時～15時

こぐま・うさぎひろば「レクリエーション公園で水遊び」

流れる水路で楽しく水遊びやシャボン玉遊びを楽しめます。こども園夏休み中の親子もぜひ参加してください。

○とき 8月4日(火)10時～11時30分

○ところ 町レクリエーション公園

○持ち物 飲み物（水またはお茶）、水遊びができる服装、サンダル、帽子、着替え

○その他 現地集合、解散になります。天候状況により、水遊びを中止にする場合は、母子モでお知らせします。中止のときは、町子育て支援センターで小麦粉粘土遊びや絵の具遊びをします

※詳細は8月号ひだまりをご覧ください。





姉妹まちだより

～高知県津野町～

津野町マスコット
キャラクター

ちやっもん



第 13 回図書館まつり開催

第 13 回図書館まつりを 6 月 28 日に虎太郎館で開催しました。

当日は、寄贈資料や保存期間の過ぎた図書館の雑誌を譲渡する「リサイクル本市」や本を借りて挑戦できる「雑誌ふろくくじ」などを目当てに、大勢の方が来館されました。

午後からは、絵本作家こまつのぶひささんによるトークイベントを開催しました。イベントでは、作家をめざしたきっかけや絵本作家の仕事の裏話など、ユーモアを交えて話していただきました。

また、こまつさんの描いた絵に一言添えて自由に発想を楽しむワークショップでは、活発に質問や感想が飛び交い、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

来年は新作が出版される予定で、図書館や書店に並んだ際には、ぜひ手に取ってご覧ください。



6 月 11 日から 7 月 10 日受付分

●ごめい福をお祈りします

清信 雅敏さん	78 歳	西幸町
植田 昭吉さん	92 歳	東 町
阿部八重子さん	82 歳	大 町
伊東 隆志さん	71 歳	実 郷
小林 智光さん	91 歳	東幸町
鈴木 啓子さん	69 歳	西幸町
松田 哲男さん	91 歳	末広町

●ご寄付ありがとうございます

▷町への寄付

・企業版ふるさと納税

株式会社山腰測量設計事務所様 北見市
 有限会社サンボウ物流様 苫小牧市

※ふるさとおもしろ寄付につきましては、町のホームページにお名前を掲載しています。

▷給食センター・認定こども園への寄付

・給食食材として（牛乳プリン）

訓子府町酪農振興会様

▷図書館への寄付

・図書を

南 學さん 東幸町

・音楽 CD を

小野 正昭さん 北見市

▷社会福祉協議会への寄付

・香典返しにかえて

清信 幸子さん 西幸町

植田ユキ子さん 東 町

伊東 明美さん 実 郷

鈴木 昭雄さん 西幸町

阿部 康範さん 札幌市

鈴木 健治さん 札幌市

※慶弔欄につきまして、町外で届け出をされた場合や過去に本町に住所があった方で、掲載をご希望の方は、町民課戸籍年金係、または政策推進課企画広報係までお問い合わせください。

－ 表紙から －

7 月 12 日に行われた第 47 回くんねっふふるさとまつりの新アトラクション「バブル相撲」の写真です。

町の特産品であるタマネギとメロンをイメージしたバブルを身に着け、勢いよくぶつかり合うたびに歓声と笑いで会場は盛り上がっていました。



くんねっふの情報発信

お知らせや緊急情報などを発信しています



ホームページ



LINE ライン



Facebook
フェイスブック



X (旧 Twitter)
エックス



町アプリ
くんねっふポータル



サポートメール
@防災くんねっふ



マイ広報紙



子育てアプリ
母子モ



- ▶ 7 月 11 日～ 12 日にふるさとまつりが開かれ、2 日間で町内外から約 6,000 人が会場を訪れ、夏のひとときを楽しみました。
- ▶ 各学校では、夏休みに入りました。連日猛暑日が続きますので、熱中症や事故などに注意して、楽しい夏の思い出をたくさん作れるといいですね。